

修了レポートの資料を探すための方法

○新聞記事の検索

- ・朝日新聞記事データベース「聞蔵」(きくぞう)
- ・図書館の専用端末よりアクセス可能

○雑誌記事の検索

- ・国立国会図書館のホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>)
- ・[トップページ] → [資料の検索] → [NDL-OPAC] → [雑誌記事索引の検索]

○論文の検索

- ・Google scholar (グーグル・スカラー) (<http://google.co.jp>)
- ・[トップページ] → [その他] → [サービス一覧] → [scholar]

○書籍の検索

- ・長岡大学図書館蔵書検索 (<http://www.nagaokauniv.ac.jp/>)
- ・[トップページ] → [図書館] → [蔵書検索]

○自分でデータを収集する

- ・ヒアリング調査・・・行政組織などを訪問し、担当者に話を聞く
- ・アンケート調査・・・アンケート票を作成し、多くの人に回答してもらう

【注意】

Yahoo! やGoogle でキーワード検索をすると、いろいろなウェブページが検索できます。しかし、インターネットによる情報発信は誰でも簡単にできることから情報の信頼性が低い場合もあり、また、記録として後から参照することが困難であることからレポートに引用するにはふさわしくありません(ただし、企業・自治体などの公式ホームページは信用できます)。

最近では Wikipedia などが市民権を獲得していますが、本授業では、Wikipedia からの引用は禁止します。